

# 2024年10月

## 丁寧にするということ

「丁寧にしましょう」、子供の時から何度言い聞かされた事でしょう。漢字の書き取り、書き順、算数の計算、言葉遣い、靴の揃え方、整理整頓などなど。

丁寧という言葉には、礼儀正しく、注意深く、ゆっくりと、など様々に解釈され、英語ではいろいろな単語に訳されます。したがって、漠然としたニュアンスになり、果たして丁寧にやっているのか、そうではないのかの境界が曖昧になりがちです。

私は、丁寧=基本の確認、と解釈しています。普段の行動で、意識して基本を確認することが、丁寧にするということです。その為には好き嫌いや快不快の感情に流されない脳の、特に前頭前野の働きが必要です。忙しい中でも、時々基本をゆっくりと再確認する癖をつけておくと、逆に素早く正確に仕事をする能力の向上に繋がります。読書でも、漢字の成り立ちや英語の語源に関心を持つと、イメージする力が養われ、知らない単語でも理解できるようになり速読で理解が進みます。歴史や仕組みなどの基本を確認すると、物事が違って見えてきます。手術は組織を仕分けしていく作業ですが、基本的な解剖などの知識や手順の確認は当然ですが、自分の気持ちの持ち方、動作などの基本の確認も大事です。これらすべてが、丁寧という言葉に込められています。

普段何気にやっている事を、丁寧というところで見直してみると、脳が活性化され、意欲もかきたてられます。

